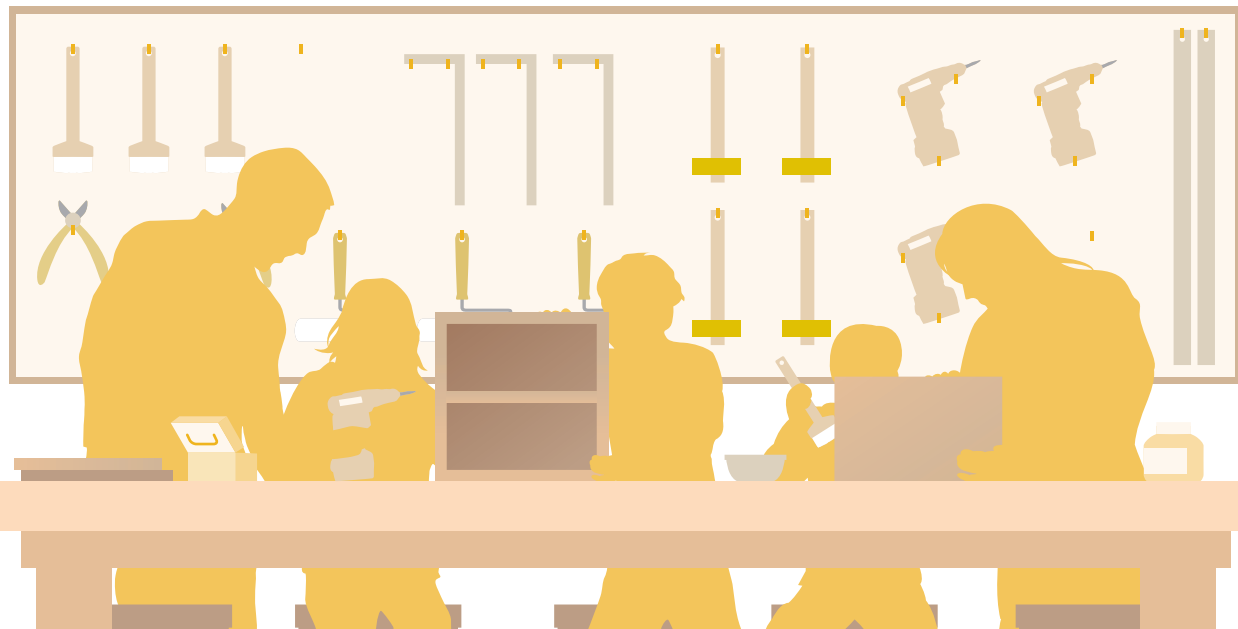


・DIY工房・



第59期 中間報告書

2019年 4 月 1 日 ▶ 2019年 9 月30日

CONTENTS

▶ 株主の皆様へ	1
▶ 事業別の概況	2
▶ 連結財務諸表（要旨）	3
▶ トピックス	5
▶ ネットワーク	6

株主の皆様へ



取締役社長

遠藤健夫

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第59期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

業績の概要

当中間期における我が国経済は、多くの業種で深刻化する人手不足を背景に、雇用環境の改善基調や省力化へ向けた企業の設備投資が堅調さを維持する一方、先行きの不確実性は高い状況にあり、個人消費は力強さを欠く状況で推移しました。

ホームセンター業界におきましては、災害による復旧需要や消費増税前の駆け込み購入などの影響により一時的な販売の伸びがみられたものの、長期的な市場規模の縮小が予測されるなか、新たなマーケット開拓と需要喚起が課題となっており、各社とも自社の得意分野において収益の確保に取り組んでいる状況です。

このようななかで当社グループは、人々の快適な住まい・暮らしをサポートする『生活のインフラ』として地域一番の企業グループを目指し、「収益力の向上」「在庫の適正化」「働き方改革」の取り組みを推進しました。具体的施策といたしましては、ホームセンター店舗では地域ごとに異なる顧客視点での商品政策を進めると同時に、現場での創意工夫を凝らした提案方法により定番商品売場の活性化を図り、専門店では新規出店による売上高の拡大を図りました。また、適正在庫維持と顧客ニーズ対応を両立するための取り組みとして適正在庫数の再設定と、エリア内で在庫共有を図る体制整備への取り組みを推し進めました。働き方改革の取り組みにつきましては、時間管理の徹底を進め、従業員が適正な労働時間で「働きがい・やりがい」をもって仕事に臨める職場環境(店舗オペレーションの効率化)への取り組みを推し進めました。

店舗につきましては、2019年6月、道具と資材の専門店「ハードストック島田」を静岡県島田市にオープンいたしました。同店は、コンパクトな売場に建築金物、道具・工具、建築・土木資

材、塗料、作業用品など約6万アイテムを品揃えし、地域のお客様のニーズに応えるべく、次なる展開に向けて取り組みを推進中です。また同月、静岡県焼津市にアウトドアショップ「スウェン焼津店」をオープンいたしました。同店は、当社のアウトドアショップにおいて県下最大級の売場面積を有し、キャンプ・ライフスタイルを中心コンセプトに、体験型専門店としての取り組みを推進しております。

販売の状況につきましては、初夏の天候不順により販売が伸び悩みましたが、梅雨明け以降、レジャー用品、冷房用品等の夏物季節品は好調に推移し、9月には増税前の駆け込み購入として家電製品などの販売が増加しました。専門店事業のハードウェアショップおよびアウトドアショップにおいては、新店の寄与に加え、既存店の販売も引き続き好調に推移しました。

以上の結果、当中間期の売上高は19,677百万円(前年同期比101.0%)、営業利益は320百万円(同89.2%)、経常利益は220百万円(同82.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は115百万円(同68.7%)となりました。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善基調は持続するものの、米中貿易摩擦の拡大や公的負担の増加等による生活不安の影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続くと思われます。

ホームセンター業界においては、人口減少や住宅着工件数の減少に伴い今後も既存市場は緩やかに縮小していくことが予想され、各社とも時間消費型施設への進化や、インターネット販売の併用等、縮小する既存市場を補う新たなマーケット開拓と需要喚起を模索しています。

このような状況下で当社グループは、業績の伸長を図り持続的な成長を確保するために、市況や商圏ニーズの変化に対応しながら、事業構造改革と業務の効率化を並行して進め、新たなマーケット開拓に取り組むことが重要と認識しております。

事業構造改革につきましては、新店計画の推進と既存店の活性化計画、地域に根差した品揃えの最適化や売場活性化を主体とする「収益力の向上」を重点課題と位置づけ、引き続き成長分野である専門店事業の拡大と、これまでにない事業同士のコラボレーションに取り組んでまいります。業務の効率化につきましては、日々変化するお客様ニーズの徹底収集による「在庫の適正化」および、より働きがいのある企業を目指し「働き方改革」に、引き続き取り組んでまいります。

なお、本年11月、静岡県富士市に「ハードストック富士」を開店いたしました。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業別の概況

ホームセンター事業

■ 売上高
157 億 19 百万円
 前年同期比 **98.0 %**



■ DIY用品 ■
 ■ 売上高 **48 億 33 百万円** 前年同期比 **106.4 %**

木材、住宅設備関連では、修繕を中心とした外装工事や、トイレなど中小規模のリフォーム工事が伸長しました。

工具、塗料関連では、夏の猛暑により空調服が、また相次ぐ自然災害の備えとしての需要の高まりから発電機が大きく売上を伸ばしました。

■ 園芸・ペット・カーレジャー用品 ■
 ■ 売上高 **57 億 57 百万円** 前年同期比 **94.3 %**

園芸、エクステリア関連では、園芸用品、花・野菜苗が伸び悩む一方で、庭や駐車場の管理需要の高まりから雑草対策用の除草剤や刈払機などの園芸機械は販売好調でした。

ペット用品関連は、犬猫や爬虫類、小動物の生体販売を強化し、生体全般および生体関連商材について売上を伸ばしました。

■ 家庭用品 ■
 ■ 売上高 **51 億 28 百万円** 前年同期比 **95.1 %**

日用品、雑貨関連は、7月の天候不良が影響し、特に殺虫剤や洗剤などの消耗品類、夏物インテリア商材は伸び悩みました。

一方、家電製品や防犯カメラ、ドライブレコーダーなどは消費税増税前の駆け込み購入により販売が伸長しました。

専門店事業

■ 売上高
34 億 16 百万円
 前年同期比 **116.3 %**



ハードウェアショップにおいては、季節関連商品の動きがやや不安定であったものの、消耗資材を中心に販売が伸長しました。また、アウトドアショップにおいてはファミリーキャンプ、ソロキャンプ提案を重点的に実施し、キャンプ用品を中心にウェアなどのカテゴリが好調に推移しました。



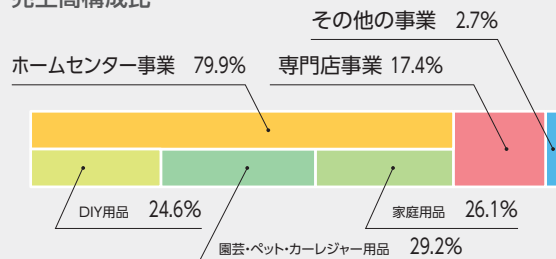
その他の事業

■ 売上高
5 億 40 百万円
 前年同期比 **108.3 %**



その他の事業には、木材およびDIY関連商品の卸売事業、ソフトウェアの開発・販売事業、ショッピングセンターの運営管理およびビルメンテナンス業務の受託事業等が含まれております。この内、木材の卸売事業、ソフトウェアの開発・販売事業、保険事業などが好調に推移しました。

売上高構成比



連結財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 2019年9月30日現在	前期末 2019年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	13,451	13,080
固定資産	23,378	23,543
資産合計	36,830	36,623
(負債の部)		
流動負債	17,707	17,675
固定負債	9,892	9,730
負債合計	27,600	27,405
(純資産の部)		
株主資本	9,138	9,091
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,817	2,769
自己株式	△17	△17
その他の包括利益累計額	91	127
純資産合計	9,229	9,218
負債純資産合計	36,830	36,623

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

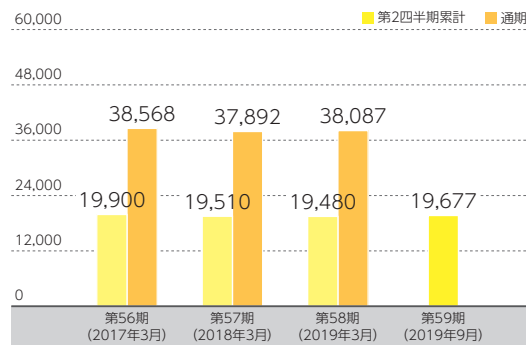
四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

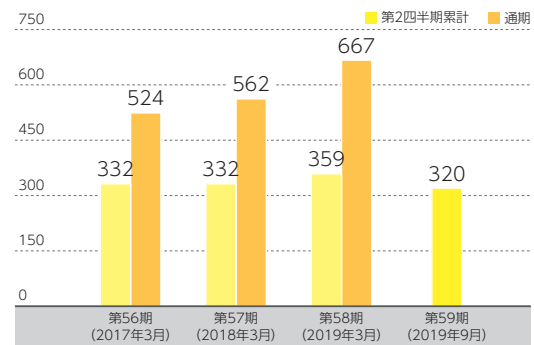
科 目	当第2四半期累計 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期累計 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで
売上高	19,677	19,480
売上原価	14,025	13,793
売上総利益	5,651	5,686
営業収入	631	632
営業総利益	6,283	6,319
販売費及び一般管理費	5,962	5,959
営業利益	320	359
営業外収益	30	36
営業外費用	131	129
経常利益	220	267
特別損失	30	0
税金等調整前四半期純利益	189	267
法人税、住民税及び事業税	76	89
法人税等調整額	△1	9
四半期純利益	115	168
親会社株主に帰属する四半期純利益	115	168

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)

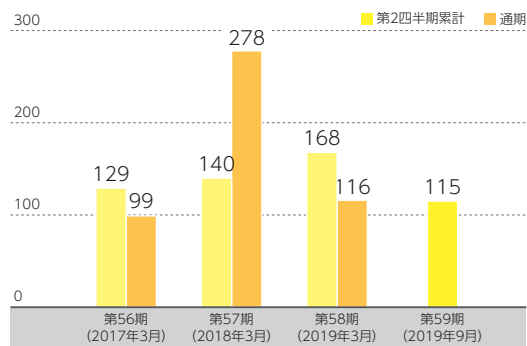


四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 2019年4月 1日から 2019年9月30日まで	前第2四半期累計 2018年4月 1日から 2018年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	870	1,333
投資活動による キャッシュ・フロー	80	△156
財務活動による キャッシュ・フロー	△631	△1,070
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の 増減額	319	108
現金及び現金同等物の 期首残高	2,290	2,207
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,610	2,315

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



Point

連結貸借対照表

- 商品が150百万円減少した一方、現金及び預金が319百万円、流動資産のその他が208百万円それぞれ増加し、「流動資産」は371百万円増加しました。また、建設仮勘定が187百万円増加しましたが、建物及び構築物が68百万円、長期貸付金が51百万円、敷金及び保証金が239百万円それぞれ減少し、「固定資産」は164百万円減少しました。
- 短期借入金が687百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が650百万円、流動負債のその他が79百万円それぞれ増加し、「流動負債」は32百万円増加しました。また、退職給付に係る負債が67百万円、固定負債のその他が113百万円それぞれ減少しましたが、長期借入金が362百万円増加し、「固定負債」は162百万円増加しました。

連結損益計算書

- D I Y用品、専門店事業が伸長し、売上高は197百万円増加しました。
- 利益面では、営業利益が39百万円、経常利益が47百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が53百万円それぞれ減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、税金等調整前四半期純利益189百万円、減価償却費309百万円、仕入債務の増加額633百万円、営業活動のその他の減少額250百万円によるものであります。

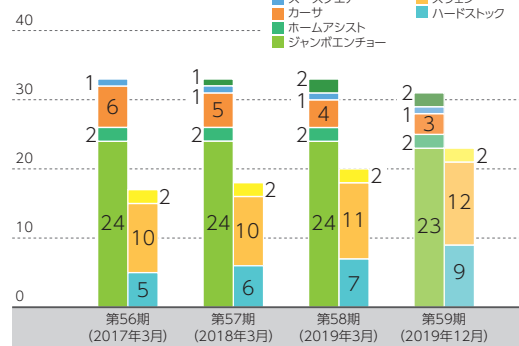
投資活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、有形固定資産の取得による支出185百万円、敷金及び保証金の回収による収入224百万円、投資活動その他の収入59百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、長短借入金の減少371百万円、リース債務の返済による支出167百万円によるものであります。

店舗数 (単位:店)



トピックス ハードストック島田オープン

2019年6月19日、静岡県内7店舗目となるプロツール専門店ハードストック島田をオープンしました。ハードストック島田は、吉田、焼津の既存店舗からそれぞれ車で20分ほどの距離に位置しており、既存店2店舗と共にドミナントを形成し、エリアでの認知度向上と店舗間の連携で市場シェア拡大を目指します。近隣3店舗の主力商品はそれぞれ棲み分けを図っており、ハードストック島田では作業衣料を充実させ、アウター・インナー共にブランド衣料や高機能アイテム、カジュアル衣料など幅広く品揃えしています。



ハードストック島田外観



黒を基調とした落ち着いた店内

また、電動工具の各種内部パーツを定番として導入。取り寄せ対応が主流の補修パーツを常備し、今後さらに拡充していきます。オープン時の店舗面積は300坪と小ぶりではありますが、スライド仕器や引出し仕器の活用で商品密度をアップし、通路を広く取り回遊性を重視しつつ、品揃えの充実を図りました。なお今冬、増床してさらに品揃えを充実し、地域ナンバーワンのプロショップを目指します！



地域NO.1の圧倒的な品揃えを目指します



広大なスペースを活用した展示

2019年6月27日、スウェン最大級の売り場面積となるスウェン焼津店をオープンしました。

スウェン焼津店は、1階で人気ブランドのウェア・グッズを中心としたライフスタイルコーナーを展開、2階では広大なスペースに多彩なテント展示とキャンプ提案を施した2フロア構成です。



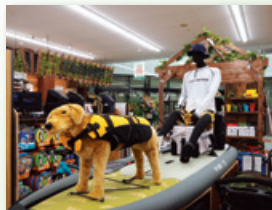
2Fには人気のテントが大集合



ウェアなどライフスタイルコーナーも充実

休日の過ごし方のトレンドとして定着しつつあるキャンプの提案コーナーでは、土日を中心にメーカーのテント設営会などのイベントを開催し、多くのご家族連れで賑わっています。常時5張以上展示している大型ファミリーテントに、実際にご家族で入ってみることで各種のテントを比較することができ、多くのお客様から高評価をいただいて

おります。また、見応えあるウェア、グッズのほか他企業様とのコラボレーション提案など工夫を凝らし、アウトドアファンならずとも楽しめる提案を充実させていきます。



アウトドアでの様々な楽しみ方を提案



アウトドアの楽しさ広がるグッズが満載

スウェン焼津店オープン

創業80周年記念イベント

1.80周年創業史パネル展示

ジャンボエンチャー各店の店頭において、エンチャー80周年創業史パネルを展示しております。1軒の材木店からはじまった当社の成長の軌跡を辿っていただけます。



2.エンチャーグループスタッフ総選挙

イチオシのスタッフをお客様に投票いただくエンチャーグループスタッフ総選挙を今期4回開催。ナンバーワンに選ばれたスタッフにご投票いただいたお客様の中から抽選でVJAギフトカードをプレゼント！第1回～第2回までに総数11,325票の投票をいただきました。



3.エンチャーカード 2%OFFキャンペーン



80周年記念企画として、エンチャーカードのご利用で2%オフにてお買い物いただけます。株主ご優待券と併せてご利用いただけますので、ぜひこの機会にご来店、ご利用ください。

注) 2020年1月31日までの期間限定。ホームショッピング等通信販売は対象外です。

ネットワーク (2019年12月5日現在)

店 舗	
神奈川県	カーサ リコ ボーノ相模大野店
静岡県 東部	ジャンボエンチャー富士店 ジャンボエンチャー沼津店 ジャンボエンチャー富士西店 ジャンボエンチャー富士宮店 ジャンボエンチャー御殿場店 ホームアシスト ハードストック沼津 ハードストック富士 (2019年11月1日開店) カーサ 駿東店 カーサ 富士店 スウェン 三島店 スウェン クロスガーデン富士中央店 スウェン イオンモール富士宮店 ダイソージャンボエンチャー富士店
静岡県 中部	ジャンボエンチャー静岡店 ジャンボエンチャー清水店 ジャンボエンチャー藤枝店 ジャンボエンチャー清水鳥坂店 ジャンボエンチャー下川原店 ジャンボエンチャー島田店 ホームアシスト清水駒越店 ハードストック焼津 ハードストック吉田 ハードストック静岡 ハードストック島田 (2019年6月19日開店) ズースクエア静岡店 スウェン 清水店 スウェン焼津店 (2019年6月27日開店) カーサ&スウェン 島田店
静岡県 西部	ジャンボエンチャー掛川店 ジャンボエンチャー浜松店 ジャンボエンチャー浜松南店 ジャンボエンチャー菊川店 ジャンボエンチャー湖西店 ジャンボエンチャー磐田店 ジャンボエンチャーきらりタウン浜北店 ハードストック浜松 ハードストック浜松早出 スウェン 浜松店 スウェン 袋井店 カーサ&スウェン イオンモール浜松市野店 ダイソージャンボエンチャー浜松南店
愛知県	ジャンボエンチャー鳴海店 ジャンボエンチャー蟹江店 ジャンボエンチャー高蔵寺店 ジャンボエンチャー岡崎店 ジャンボエンチャー豊橋神野店 ハードストック豊田 スウェン エアポートオーク名古屋店 スウェン ヒルズウォーク徳重店 スウェン ラグーナ蒲郡店 スウェン ナディアパーク栄店 スウェン 豊田店
ショッピングセンター	
静岡県	ペイドリーム清水

(注) 1. カーサアピタ富士吉原店は、2019年9月20日付で閉店しました。
2. ジャンボエンチャー相良店は、2019年9月30日付で閉店しました。

企業情報 (2019年9月30日現在)

会社の概要

商号……株式会社エンチョー (ENCHO CO.,LTD)
設立……1962年(昭和37年)7月19日
本店……静岡県富士市中央町二丁目12番12号(〒417-0052)
資本金……29億295万円
従業員数……466名(連結) 421名(単体) 出向者、準社員、パート
タイマー等を除く
事業目的……DIY用品(木材、住設、塗料、工具等)、園芸・ペット・
カーレジャー用品(園芸、エクステリア、ペット、カー用
品、レジャー用品等)、家庭用品(日用品、インテリア、収納
用品、電気用品等)の販売、住宅のリフォーム請負
子会社……株式会社ジャンボ、株式会社システック、
株式会社ジェイ・イー・サービス

株式の状況

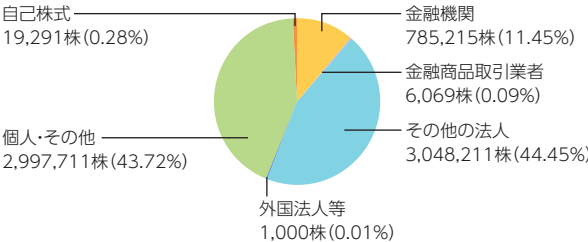
発行可能株式総数……12,000,000株
発行済株式の総数……6,857,497株
株主数……1,172名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社無量寿	1,515	22.16
エンチョー共栄会	1,169	17.10
すてきなイスグループ株式会社	617	9.03
株式会社三井住友銀行	333	4.87
エンチョー従業員持株会	272	3.98
遠藤健夫	205	3.01
遠藤敏東	203	2.98
山種不動産株式会社	116	1.70
株式会社三菱UFJ銀行	91	1.33
株式会社静岡銀行	88	1.29

(注)持株比率は自己株式(19,291株)を控除して計算しております。

所有者別株式数



役員

代表取締役……遠藤健夫
取締役社長
常務取締役……長谷川英一
常務取締役……遠藤秀男
取締役……小野田智則
取締役……貫名信行
取締役……中村晴隆
社外取締役……仁瓶眞平
常勤監査役……望月学
社外監査役……吉田龍美
社外監査役……新保昌義
執行役員……佐野憲作
執行役員……岩城陽介

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)
郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.encho.co.jp/ir/ectaison.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。